

公衆衛生看護学専攻科		受験番号		氏名	
科目名	看護学一般		参考資料	一切不可・使用可（ ）	
採点欄			持込用具	一切不可・使用可（ ）	

1. 次の問いに答えよ。

- (1) 国民医療費に含まれる費用はどれか。
 1. 予防接種
 2. 健康診断
 3. 正常な分娩
 4. 入院時の食事
- (2) 母子保健法で規定されているのはどれか。2つ選べ。
 1. 生理休暇
 2. 養育医療の給付
 3. 医師による不妊手術
 4. 母子健康手帳の交付
 5. 出産育児一時金の支給
- (3) 介護保険の第2号被保険者について正しいのはどれか。
 1. 介護保険料はどの被保険者も同額である。
 2. 40歳以上65歳未満のすべてのものである。
 3. 介護サービス利用者負担は一律3割である。
 4. 特定疾病による要介護・要支援認定が受給要件となる。
- (4) 要介護状態の審査判定業務を行うのはどれか。
 1. 保健所
 2. 介護保険審査会
 3. 介護認定審査会
 4. 地域包括支援センター
- (5) 介護医療院について正しいのはどれか。
 1. 要支援者が入所できる。
 2. 在宅復帰や在宅支援が目的となる。
 3. 常勤医の配置は義務付けられていない。
 4. 長期療養と生活施設の機能を有している。
- (6) 感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律〈感染症法〉に基づき入院の勧告が行われる疾患はどれか。2つ選べ。
 1. 結核
 2. コレラ
 3. ラッサ熱
 4. 腸管出血性大腸菌感染症
 5. クロイツフェルト・ヤコブ病
- (7) 雇用の分野における男女の均等な機会及び待遇の確保等に関する法律〈男女雇用機会均等法〉に規定されているのはどれか。
 1. 育児時間の請求
 2. 産前・産後の休業
 3. 妊産婦等の危険有害業務の就業制限
 4. 妊娠・出産等を理由とする不利益取り扱いの禁止
- (8) 労働安全衛生法に基づく定期健康診断について正しいのはどれか。
 1. 6か月以内ごとに1回実施される。
 2. 40歳以上の者を対象として行われる。
 3. 育児休業中の労働者も受ける必要がある。
 4. 健康診断結果に基づく保健指導は事業者の努力義務である。
- (9) 育児休業、介護休業等育児又は家族介護を行う労働者の福祉に関する法律〈育児・介護休業法〉における育児休業の取得で正しいのはどれか。
 1. 父母のいずれも取得できる。
 2. 子1人につき1回まで取得できる。
 3. 女性の場合、出産の翌日から取得できる。
 4. 休業期間は子が最長4歳まで延長できる。
- (10) 災害救助法に定められている内容で正しいのはどれか。
 1. 避難所の設置は含まれていない。
 2. 避難行動要支援者名簿を作成する。
 3. 災害救助の対象に訪日外国人は該当しない。
 4. 災害発生直後に救護班による傷病の処置を行う。
 5. 災害平穏期の防災訓練の実施が定められている。
- (11) 脳梗塞の後遺症で右片麻痺があり、胃瘻を造設している義歯を装着した患者への口腔ケアで適切なのはどれか。
 1. 左側臥位で実施する。
 2. 義歯は装着したまま実施する。
 3. 舌苔は強くこすって除去する。
 4. 栄養剤の注入を行った直後に実施する。
- (12) 成人へのグリセリン浣腸で正しいのはどれか。
 1. 浣腸液はすばやく注入する。
 2. チューブは5cm程度挿入する。
 3. 浣腸液の温度は30℃程度とする。
 4. 浣腸液の注入時の体位は立位とする。

印刷サイズ	✓	A4	印刷の色	✓	白黒	印刷方法		片面
		A3			カラー		✓	両面（長辺綴じ）
								両面（短辺綴じ）

公衆衛生看護学専攻科	受験番号		氏名	
------------	------	--	----	--

(13) 次亜塩素酸ナトリウム液での消毒液の適応となるのはどれか。

1. 嘔吐が付着した衣類
2. 擦過傷のある患者の手掌
3. 血液が付着した金属製の鑷子
4. おむつを交換したあとの手指

(14) 原始反射はどれか。

1. パラシュート反射
2. 視性立ち直り反射
3. Moro〈モロー〉反射
4. Landau〈ランドー〉反射

(15) 女性の第二次性徴の発現に最も関与するホルモンはどれか。

1. オキシトシン〈OXT〉
2. プロラクチン〈PRL〉
3. 黄体形成ホルモン〈LH〉
4. 副甲状腺ホルモン〈PTH〉

(16) 感染兆候の指標となる検査項目はどれか。

1. 血清尿酸〈UA〉
2. 血清アルブミン〈Alb〉
3. 血清クレアチニン〈Cr〉
4. 血清C反応性蛋白質〈CRP〉

(17) レジリエンスで正しいのはどれか。

1. 困難な状況から立ち直っていく力のこと
2. その人が主体となってその人らしく生きていくこと
3. 患者が自らの力で問題に対処できるように援助すること
4. 長期入院患者が陥りやすい弊害の一つで、集団収容生活が心身に及ぼす影響のこと

(18) 精神科病院に入院中の患者の処遇について正しいのはどれか。

1. 任意入院であれば緊急時も退院の制限はできない。
2. 患者の精神医療審査会への電話連絡は制限できない。
3. 医療保護入院の患者は弁護士との面会が制限される。
4. 患者に届いた手紙に異物があつた場合は本人の同意なしに主治医が開封できる。

(19) 成人と比べて乳児が脱水になりやすい理由として最も適切なのはどれか。

1. 腎の濃縮能が高い。
2. 細胞外液の割合が高い。
3. 体重当たりの不感蒸泄量が少ない。
4. 体液組成で水分の占める割合が低い。

(20) 母子保健法に基づき乳幼児健康診査の実施が義務付けられている年齢はどれか。2つ選べ。

1. 4か月
2. 1歳
3. 1歳6か月
4. 3歳
5. 5歳

(21) 子どもの遊びで正しいのはどれか。

1. 構成遊びは4歳ころからみられる。
2. 受容遊びは5歳ころからみられる。
3. 感覚運動遊びは6歳ころに増える。
4. 並行遊びは2～3歳ころにみられる。
5. 象徴遊びは1歳ころが最も盛んである。

(22) 妊娠期の不快症状と保健指導との組み合わせで適切なのはどれか。

1. 便秘 ―――― 腹部の温電法
2. つわり ―――― 1日3食の規則正しい食事摂取
3. 下肢静脈瘤 ――― 弾性ストッキングの着用
4. 下肢けいれん ――― 葉酸の摂取

(23) 産後うつ病について正しいのはどれか。

1. 症状は2週間以内におさまる。
2. 産後10日以内に発症することが多い。
3. 危険因子としてうつ病の既往歴がある。
4. 確定診断にはエジンバラ産後うつ病自己評価票〈EPDS〉を用いる。

(24) 生後14日の新生児。母乳分泌が不足している状態として最も考えられるのはどれか。

1. 夜中に目を覚ましている。
2. 1日に10回母乳を飲んでいいる。
3. 1日の排便回数が3～4回である。
4. 1日の排尿回数が3～4回である。

(25) 全身性エリテマトーデス〈SLE〉で正しいのはどれか。2つ選べ。

1. 抗核抗体の陽性率が高い。
2. 女性より男性に好発する。
3. I型アレルギーによる免疫異常である。
4. 典型的な症状として結節性紅斑がみられる。
5. ループス腎炎を合併すると生命予後に関わる。

(26) 慢性心不全患者への退院指導で適切なのはどれか。

1. インフルエンザの予防接種は控える。
2. 塩分摂取量は6g/日未満とする。
3. 食直後の散歩を勧める。
4. 入浴時の温度は42℃程度とする。

公衆衛生看護学専攻科

受験番号

氏名

(27) 職業性疾病とその原因の組み合わせで正しいのはどれか。

1. VDT症候群 ―――― 重量物の取り扱い
2. 職業性難聴 ―――― 高温多湿
3. 悪性中皮腫 ―――― 放射線
4. 白ろう病 ―――― 振動器具

(28) 右片麻痺のある高齢者の、ベッドから車椅子への移乗動作の援助で正しいのはどれか。

1. 車椅子は患側に置く。
2. 移乗の途中の回転動作は患者の左下肢を軸に行う。
3. 患者は左手で車いすの右肘掛けをつかむようにする。
4. ベッドの高さは、患者が端坐位となった時に両足が床面から浮くように調節する。

(29) 廃用症候群について正しいのはどれか。

1. 骨吸収が亢進する。
2. 心拍数が低下する。
3. 精神症状は含まれない。
4. 加齢とともに症状の進行は遅くなる。

(30) 興奮して「家に帰りたい」と訴えている入院中の認知症高齢者への対応で最も適切なものはどれか。

1. 家に帰りたい理由を聞く。
2. 繰り返し落ち着くよう伝える。
3. 入院中で帰れないと説得する。
4. 入院中であることを紙に書いて床頭台に置く。

(31) Aさん（78歳、男性）。妻と2人で暮らしている。パーキンソン病でHoehn-Yahr〈ホーエン・ヤール〉重症度分類のステージⅡである。要介護認定を受け訪問看護を利用している。Aさんは「以前は毎日散歩していたけれど、今は外に出るのが怖い」と言い、引きこもりがちである。訪問看護師によるAさんへの指導で適切なものはどれか。

1. 「散歩は朝にしましょう」
2. 「自動車を運転することは可能です」
3. 「車椅子を導入して外に出ましょう」
4. 「散歩中は、手を振って足をあげて歩きましょう」
5. 「体調が良いときに、外の空気を吸いに行きましょう」

(32) 訪問看護を受ける際、医療保険からの給付対象となる疾病又は状態で適切なものはどれか。

1. 47歳の女性、関節リウマチのため運動障害がみられている。
2. 62歳の男性、若年性アルツハイマー型認知症のため服薬の自己管理ができない。
3. 75歳の女性、新型コロナウイルス感染症のため特別訪問看護指示書が発行されている。
4. 80歳の男性、脳梗塞後の半身麻痺のため要介護認定を受けている。

2. 次の文を読み、下記の問いを答えよ。

Aさん（50歳、男性、自動車販売業）は、日ごろから仕事の都合により食生活が不規則で、昼食と夕食は外食やコンビニエンスストアの揚げ物、菓子パンで済ませることが多い。会社の健康診断の結果、保健指導を受けることになった。

【健康診断の結果】

身長170cm、体重69kg、腹囲83cm、血圧128／78mmHg、空腹時血糖108mg/dℓ、トリグリセリド140mg/dℓ、HDLコレステロール70mg/dℓ、LDLコレステロール130mg/dℓ、尿酸値8.5mg/dℓ、赤血球数450万/μℓ、Hb15g/dℓ、AST18U/L、ALT14U/L、γ-GT12U/L、尿糖（－）、尿蛋白（－）

(1) Aさんの健康診断の結果のアセスメントで適切なのはどれか。

1. 貧血がある。
2. 肥満度1度である。
3. 高尿酸血症である。
4. 肝機能障害がみられる。

(2) Aさんに薬物療法とともに食事指導が行われた。指導内容で適切なものはどれか。

1. 水分制限をする。
2. 高蛋白質食を摂取する。
3. 高カロリー食を摂取する。
4. プリン体の摂取を制限する。

公衆衛生看護学専攻科

受験番号

氏名

3. 次の文を読み、下記の問いを答えよ。

Aさん（78歳、女性）は、長男（52歳）と2人暮らし。脳梗塞の後遺症により左片麻痺があり、要介護2と認定され、週1回の訪問看護を開始することになった。長男は若いころから定職につかず家に引きこもっており、飲酒やギャンブルなどによる浪費癖はないものの、Aさんの貯金と年金を頼りに生活している。初回訪問時、訪問看護師はAさんの右上肢と左大腿にあざがあることに気づいた。Aさんに尋ねると沈黙したままであったため長男に尋ねたところ「歩くのが不自由だから転んだのではないですか」と答えた。さらに詳しい事情を尋ねたところ、「人の生活に勝手に入り込んでくるな!」と怒った。2回目の訪問時、Aさんの顔にあざができており、目の周りは青く変色していた。長男に尋ねたところ、「きちんと家事をしないからお仕置きしているだけだ」と話した。

- (1) 訪問看護師がAさんのことを訪問看護ステーションの所長に相談したところ、長男からの虐待により生命または身体に重大な危険が生じる恐れがあると判断したため通報することになった。通報先で最も適切なのはどれか。
 1. 警察署
 2. 家庭裁判所
 3. 社会福祉協議会
 4. 地域包括支援センター
- (2) その後、Aさん宅への立ち入り調査が行われ、対応が検討された結果、Aさんと長男を分離する措置が取られることになった。
 Aさんが入所する社会福祉施設で最も考えられるのはどれか。
 1. 有料老人ホーム
 2. 特別養護老人ホーム
 3. 高齢者生活福祉センター
 4. サービス付き高齢者向け住宅

4. 次の文を読み、下記の問いに答えよ。

Aさん（83歳、男性）は、妻（80歳）と2人暮らし。脳梗塞を発症し、軽度の左片麻痺が残ったが、入浴・階段昇降以外は自立して退院した。退院して半年が経過し、Aさんは自分の姿を人に見られたくないと外出の機会が減り、心理的に落ち込みがみられ、日常生活の様々な用事を妻に任せることが多くなった。ほとんどの家事や介護は、妻が行っているが、1か月前から妻は変形性膝関節症を患い膝の痛みを訴え、重い物を抱えることや、買い物が困難になってきた。また、妻は「自分の時間を持ちたい」と言っては沈み込む様子が度々みられるようになった。

Aさんは要介護2の認定を受け、入浴介助のため週2回の訪問看護を利用している。長男（53歳）は遠方に済んでおり、日常的に援助することはできない。

- (1) Aさんに対して訪問看護師が行うアセスメントで最も優先度が高いのはどれか。
 1. 生活習慣
 2. 排泄行為の状況
 3. 本人の思いやニーズ
 4. 社会活動への参加状況
 5. 日常生活動作〈ADL〉の自立度
- (2) 1か月後、Aさんは「妻は自分の時間を持ちたいといっているし、私もじっとしているばかりですますます体が動かなくなってしまう。軽いレクリエーションが楽しめるような機会があるといいのですが」と訪問看護師に話した。
 訪問看護師がAさんに提案するサービスで最も適切なのはどれか。
 1. 訪問介護
 2. 住宅改修
 3. 訪問リハビリテーション
 4. 通所介護〈デイサービス〉

公衆衛生看護学専攻科

受験番号

氏名

5. 次の文を読み、下記の問いを答えよ。

在胎37週4日、出生体重2,890gで出生した女児。アプガースコアは1分後9点、5分後10点であった。

- (1) 生後3日。看護師は女児の状態をアセスメントする前に、正常と異常な状態について再確認することにした。生後3日の新生児の生理的な変化として正常なのはどれか。

1. 体重が2,560gである。
2. 大泉門が開大している。
3. 赤色便の排泄がみられる。
4. 血清ビリルビン値が13mg/dℓである。

- (2) 生後4日。女児は仰臥位で顔を一方向に向けると、向いたほうの上下肢を伸展し、反対側の上下肢を屈曲する動きをする。この反射はどれか。

1. 把握反射
2. 吸啜反射
3. モロー反射
4. ルーティング反射
5. 非対称性緊張性頸反射

- (3) 生後5日。女児は先天性代謝異常検査を受けることになった。女児の母親は「どんな検査なのでしょう。詳しく知りたいです」と看護師に質問した。

女児の母親への先天性代謝異常検査に関する説明の内容で適切なものはどれか。

1. 通常は日齢2日に検査する。
2. タンデムマス法で行われる。
3. 検体は採血管に入れて提出する。
4. すべての先天性代謝異常が検査対象となる。

6. 次の文を読み、下記の問いに答えよ。

Aちゃん（生後1か月、女児）。父親（29歳、会社員）と母親（29歳、会社員）との3人家族である。出生後、母親の実家で過ごしていたが1回の授乳で飲むミルクの量が60ml程度で、鳴き声もかばそかった。生後1か月の乳幼児健康診査のため母親とともに受診したところ、心雑音が聴取されたため大学病院を紹介された。大学病院で診察を受けた結果、心室中隔欠損症〈VSD〉と診断され、強心薬と利尿薬による治療のため入院となった。Aちゃんの出生体重は2,800gでアプガースコアは10点であった。現在の体重は3,000g、チアノーゼは見られない。入院時は体温37.5℃、呼吸数50回/分であった。

- (1) 医師からAちゃんの両親へ治療についての説明が行われた。説明後、Aちゃんの病室に戻ると母親は涙ぐんで「私が悪かったのかしら…」とつぶやき、父親も無言であった。

看護師によるAちゃんの両親への対応で最も適切なものはどれか。

1. Aちゃんの病気は両親の責任ではないと伝える。
2. 哺乳量が少なかったのに受診しなかった理由を聞く。
3. Aちゃんの治療薬についての説明を薬剤師に依頼する。
4. 病気の受け入れができるまでAちゃんとの面会を制限する。

- (2) Aちゃんは治療により、ミルクを飲む量が増えてきた。母親は付き添っているが、Aちゃんを抱いてもすぐにベッドへ寝かせている。母親は「心臓の病気なので触れるのも怖いです」と話している。母親へのAちゃんのかかり方に関する指導で最も適切なものはどれか。

1. 「音が鳴るおもちゃの使用は控えましょう」
2. 「Aちゃんに話しかけるようにしましょう」
3. 「付き添いを他の人に交代してもらいましょう」
4. 「抱っこは退院が決まってから練習しましょう」
5. 「ミルクは看護師が人工乳をあげるようにしますね」

- (3) Aちゃんは体重が増加したため、医師はAちゃんの両親へ将来の手術の必要性を説明した。

Aちゃんの両親に対する心室中隔欠損症〈VSD〉の手術についての説明で適切なものはどれか。

1. 心臓移植の対象である。
2. 人工心肺が使用される。
3. 手術前後には無菌室に入室する。
4. 成長に伴い再手術が必要である。